

令和3年度 指導教育担当児童福祉司の任用前研修システム運用事業業務委託
に係る企画提案実施要領

児童相談所の専門性強化を図る観点から、指導教育担当児童福祉司等の研修等の受講が義務付けられたところである。

これを踏まえ、研修等の到達目標やカリキュラム等を策定し、当該カリキュラム等を基に、研修等の基準等を告示で定められたところであり、そのために研修を実施し、専門性強化を図るための研修を子どもの虹情報研修センター（以下「虹センター」という。）が実施する事業を委託するため、以下のとおり企画提案を募集します。

1 業務の概要

(1)業務名

指導教育担当児童福祉司の任用前研修システム運用事業業務委託業務

(2)委託業務の内容

別添「令和3年度指導教育担当児童福祉司の任用前研修システム運用事業業務委託仕様書」の
とおり

(3)予定契約期間

契約締結日から令和4年3月31日まで

※令和3年(契約締結日)から令和5年3月末までの2か年を基本(ただし、国の財政事情、事業の
実施状況等によりこれを必ず保証するものではない。)とする。

(4)担当部課及び書類提出先等

社会福祉法人横浜博萌会 子どもの虹情報研修センター

所在地 〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町 983 番地

電話:045-871-8011 FAX:045-871-8091

E-mail:watari@crc-japan.net

担当 渡利 賢司

(5)日程

令和3年9月27日(月)～10月15日(金)	企画提案実施要領、仕様書等の配布
令和3年10月7日(木) 14:30～15:30	説明会
令和3年10月1日(金)～10月8日(金)17:00	質問受付期間
令和3年10月12日(火)	質問への回答
令和3年10月15日(金)17:00	企画提案書等提出 締め切り日時
令和3年10月下旬	プレゼンテーション
令和3年10月下旬	委託契約者の決定・公表
令和3年10月下旬	契約締結

2 企画提案参加資格

次のいずれにも該当する者であること。

- (1)破産手続開始の決定を受けていない者であること。(復権を得ている者を除く)
- (2)社会保険等(厚生年金保険、健康保険、労働者災害補償保険及び雇用保険をいう。)に加入し、該当する制度の保険料の滞納がないこと。なお、企画書の提出時に、保険料納付に係る申立書(様式 1)を提出するものとする。
- (3)暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成三年法律第七十七号)第三十二条第一項各号に掲げられていない者であること。なお、企画書の提出時に、暴力団等に該当しない旨、誓約書(様式 2)を提出するものとする。
- (4)厚生労働省及び横浜市競争参加資格(全省庁統一資格)の一般競争参加資格の認定を受けていること。
- (5)厚生労働省及び横浜市から指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- (6)経営状況又は信用度が極度に悪化していないと認められる者であること。なお、財務諸表及び納税証明書(発行後 3ヶ月以内のもの)を各 1部提出すること。
- (7)直近 3年程度以内において、類似業務の受注実績があり、確実に履行できるものであること。なお、企画書の提出時に類似業務実績報告書(様式 3)を提出するものとする。

3 仕様書等の配布

本業務に関する資料及び参加するために必要な書類は次のとおりとする。

- (1)令和 3年度 指導教育担当児童福祉司の任用前研修システム運用事業業務委託に係る企画提案実施要領
- (2)別添 令和 3年度 指導教育担当児童福祉司の任用前研修システム運用事業業務委託仕様書
- (3)別紙 1 企画提案書作成要領
- (4)別紙 2 企画評価点の評価基準及び配点
- (5)別紙 3 指導教育担当児童福祉司の任用前研修事業の全体スケジュール(イメージ案)
- (6)別紙 4 令和 4年 4月以降の指導教育担当児童福祉司の任用前研修の取扱い等について【概要】
- (7)別紙 5 令和 4年 4月以降の指導教育担当児童福祉司の任用前研修の取扱い等について(令和 3年 8月 27日子課発 0827 第 2号厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課長)
- (8)別紙 6 児童福祉司等及び要保護児童対策調整機関の調整担当者の研修等の実施について(平成 29年 3月 31日雇児発 0331 第 16号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長)
- (9)別紙 7 子ども家庭福祉に関し専門的な知識・技術を必要とする支援を行う者の資格の在り方その他資質の向上策に関するワーキンググループ とりまとめ(令和 3年 2月 2日)
- (10)別紙 8 「児童相談所の専門職の資格の在り方その他必要な資質の向上を図る方策に関する調査研究報告書」(令和元年度子ども・子育て支援推進調査研究事業)
- (11)別紙 9 「児童福祉司・要対協調整担当職員・スーパーバイザーの義務研修修了要件の在り方についての調査研究報告書」(令和 2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業)
- (12)保険料納付に係る申立書(様式 1)
- (13)誓約書(様式 2)
- (14)類似業務実績報告書(様式 3)

(15) 所要額内訳書(様式 4)

(16) 法人概要(様式 5)

(17) 企画提案書(様式 6)

※表紙は様式 6 を使用。表紙以降は A4 判カラー 枚数(60 ページ程度以内) 様式制限なし。

(18) 財務諸表及び納税証明書(発行後 3 ヶ月以内のもの)

4 質問及び回答方法

(1) 質問方法

質問がある場合は、質問の要旨を簡潔に記入し、1(4)に記載の E-mail アドレス宛にメールで送信すること。メールのタイトルは「指導教育担当児童福祉司の任用前研修システム運用事業業務委託業務質問書(事業者名)」とする。電子メール以外での質問は受け付けない。

(2) 回答方法

質問者には随時回答するとともに、企画提案を提出するうえで広く周知した方が良い、と判断されるものは、質問者の名前を伏せて子どもの虹情報研修センターホームページで公表する。

5 企画提案書の提出

(1) 提出方法

1(5)に記載の締め切り日時までに、5(2)の提出媒体を 1(4)に記載の住所宛に「指導教育担当児童福祉司の任用前研修システム運用事業業務委託各種資料(事業者名)」と記し郵送(必着)または持参すること。なお、郵送または持参以外での提出は受け付けない。

(2) 提出媒体

① 3(12)~(18)を印刷した書類 6 セット

② 3(12)~(18)の PDF を記録した CD-ROM 1 枚

なお、①の表紙及び②の CD-ROM 盤面に「指導教育担当児童福祉司の任用前研修システム運用事業業務委託各種資料(事業者名)」と記すこと。

6 プレゼンテーションの実施

(1) 企画提案書を提出した者については、選定にあたってプレゼンテーションを実施する。

(2) プレゼンテーションは 5 で提出された企画提案書により行うこととする。プレゼンテーションは、提出された資料以外を使用することはできない。

(3) プレゼンテーション日時、場所、方法については企画提案書等提出締め切り日以降に、別途連絡を行う。

7 企画提案書の選定方法

(1) 審査方法

審査は、5 で提出された各種書類及び 6 に示したプレゼンテーションにより行うこととし、別紙 2 に定める評価基準により総合的に検討する。

(2) 委託契約者の選定について

(1) に示した審査方法によって最も優秀な者と選定された事業者を委託契約者とする。ただし、審査の内容如何によってはいずれも採用しないこともある。また、参加者が 1 社の場合には総合的に評価して

委託契約の相手方としての適否を判断するものとする。

(3) 審査結果の通知

審査結果については速やかに参加者全員に対し通知するとともに、委託契約者の名称等を子どもの虹情報研修センターホームページに掲載する。

8 契約について

- (1) 本業務の委託は、選定した委託契約者と企画提案書を基に細部について虹センターと協議のうえ、契約を締結することとする。なお、企画提案に当たっての虚偽記載及び申告など、不正とみなされる行為を行った場合には、契約の相手方としない場合もある。
- (2) 契約書の作成にあたり必要な経費は全て受託者の負担とする。

9 業務の適正な実施に関する事項

(1) 業務の再委託の禁止

受託者は受託者が行う業務を第三者に委託し、又は請け負わせることはできない。ただし、あらかじめ本委託業務の一部を再委託することについて、虹センターに書面による承諾を得た時はこの限りではない。

(2) 提出書類の取扱い

- ① 提出された書類は返却しない。
- ② 提出された書類の訂正・差替えは認めない。ただし、虹センターから指示があった場合は除く。
- ③ 同一の事業者からの複数の企画提案書の提出は認めない。
- ④ 提出された書類は、本委託候補者選定以外の目的では使用しない。
- ⑤ 提出のあった書類は、審査作業において必要な範囲で複製する場合がある。